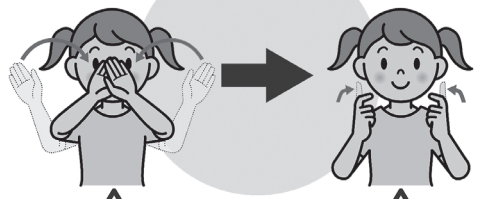
手話を広げよう

手話で一日過ごしてみよう　～手話は言語～

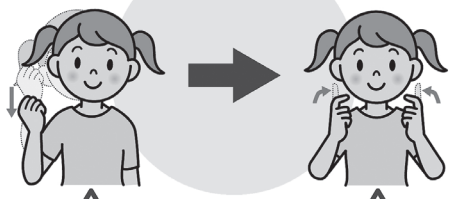
こんばんは「夜」＋「あいさつ」



手の平を外に向け、顔の前で交差させておろします。

人差し指を向かい合わせて曲げます。

おはよう「朝」＋「あいさつ」



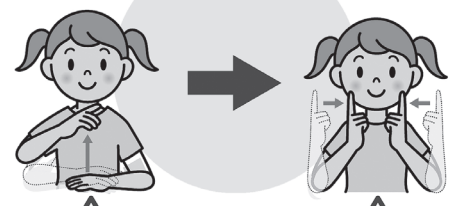
こぶしは枕を表します。枕から頭を上げる様子。

人差し指を向かい合わせて曲げます。

さようなら

右手の手の平を前に向けて左右に軽く振ります。

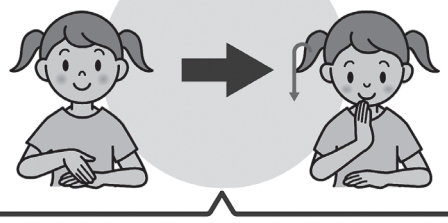
はじめまして



右手の指を閉じながら上げ、人差し指を伸ばします。

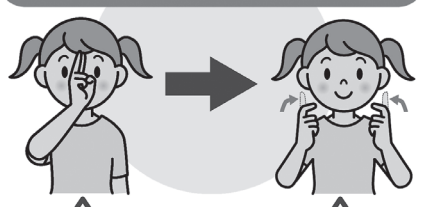
両手の人差し指を立てて、左右から寄せます。

ありがとう



片方の手の甲の辺りから上に引き上げます。

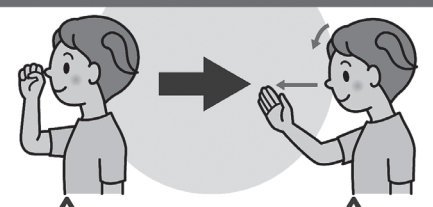
こんにちは「昼」＋「あいさつ」



2本の指を額に当てます。時計の針が12時を指している様子。

人差し指を向かい合わせて曲げます。

よろしくお願いします「よい」＋「お願い」



鼻の前でこぶしを突き出します。

手は体と垂直にし、顔の前にします。

障害の有無にかかわらず、誰もが、お互いに人格と個性を尊重し合うことが大切です。

手話は言語

手話は、手や指、体の動き、表情などを使って視覚的に表現する独自の文法を持つ言語です。

また、ろう者にとっては物事を考え、お互いの気持ちを伝え合い、日常生活や社会生活を営む上でかけがえのない言語です。

さまざまなコミュニケーション手段

障害の種別や特性によって、コミュニケーションを取る方法は異なります。障害のある方が自らの意思で選べるようにコミュニケーション手段を充実する必要があります。

また、必要な情報を取得し、利用できるよう、環境を整える必要があります。

区の主な取り組み

- 手話通訳者・要約筆記者の派遣
- 声の広報、点字広報の発行・個別配送
- ホームページでの文字拡大・音声読み上げ機能
- 窓口への対話支援機器・筆談ボードの設置

区で行っている講座

- 手話講習会、点字啓発講座、要約筆記啓発講座

主なコミュニケーション手段の例

●手　話

●点　字

●対話支援機器

●音声コード(Uni-Voice)

●要約筆記・筆談

●スマートフォン、タブレット

●わかりやすい表現

区が推進する取り組みについて、区民・事業者のご協力をお願いします。

問障害者福祉課障害者福祉係
☎(3546)5389　FAX(3544)0505

凡例　問 問い合わせ(申込)先　HP ホームページ　e Eメールアドレス